

# エコな横浜を みつけよう！

学生企画エコツアー報告書



- 1P ~ エコツアーとは
- 3P ~ これまでのツアーの紹介
- 9P ~ 企画メンバーにインタビュー！
- 10P 報告書に寄せて



主催：公益財団法人横浜市資源循環公社  
NPO 法人アクションポート横浜



# エコツアーとは

横浜で環境活動をしていたり、環境に興味のある学生が、(公財)横浜市資源循環公社と協力して環境問題に取り組む現場を見に行くツアーで、毎年学生を中心に企画しています！

## 環境団体に所属しているけど・・・



横の繋がりが欲しいけど  
あまり機会がない・・・

実際の環境問題の  
現場を知らない・・・



そんな悩みありませんか？  
そこで私たちは地域でリサイクル現場に関わる方々に協力してもらい、  
現場を回るツアーを開催しました！

## “学生のネットワーク作り×リサイクルの現場”

その両方を兼ね備えたのがこのエコツアーなんです。

# エコツアーができるまで



企画メンバー  
募集

企画会議

下見



「楽しかった」だけで  
終わらせないで  
次回に繋がります！



自分たちでも事前に  
現場へ足を運び、  
本番に備えます！

本番

反省会



# 今までの活動

2012年から始まり、今年で7回目を迎えたエコツアー。

今まで150人以上の学生が参加しました！横浜近隣の大学（フェリス女学院・横浜国立・横浜市立・桜美林・神奈川・関東学院・明治学院 等）に通っている学生を中心に企画しています。

# エコツアーの素敵な関係♪

私たちは、学生だけでなく、NPO や行政と協力して毎年企画しています。  
学生だけでは出来ないこと、大人だけでは出来ないことを一緒に協力することによって、お互いにメリットのある活動を生み出すことができます！



学生企画チーム  
当日の運営

学生に今の環境  
問題を伝える



エコな知識を  
教えてもらう

運営のサポート  
広報のお手伝い



エコな学生との  
繋がりを作る



環境の現場との繋がりを作る



横浜市資源循環公社  
見学場所の紹介



学生の紹介



アクションポート横浜  
学生のサポート

横浜市資源循環公社は、横浜市から出る廃棄物の適正処理事業と3R（リデュース・リユース・リサイクル）及び地球温暖化対策の推進を目的とした啓発事業を行っています。

エコツアーは、啓発事業として「学生に身近なものを通じて環境問題や自分ができることを知ってほしい」という目的で、毎年学生と共同で実施しています。

アクションポート横浜は、企業・NPO・行政・大学・若者とともに地域を盛り上げる活動を行っています。

エコツアーは学生の小さな悩みから始まった活動です。地域のNPOとして、学生が地域に参加するのを場作ることもわたしたちの役割だと感じています。これからも学生のみんなと一緒に活動をしていきたいと思います！

# ペットボトル編 「えこたび」(2012年)

## ツアーを行なった経緯

環境活動に取り組む者として、現場の現状を「知らない」のは説得力・発信力に欠けるのではないかと思いました。そこで現場を見る第一歩として今回は分別されたペットボトルがどうリサイクルされるかを見に行きました。



午前中は、リサイクルについて改めて勉強しました！



ペットボトル T0 ペットボトルを行っている「**ペットリファイン**」へ。ペットボトルが山積み of 光景に圧倒されました！



ペットボトルのリサイクル工場「**鶴見資源化センター**」へ。このセンターではびん・缶・ペットボトル混合で収集されてきます。ペットボトルは手作業で分けていました！

### 学んだこと

リサイクルも大切だけど、使う前から考えるリデュース・リユースはさらに大切であることを実感しました。なぜ分別を呼び掛けているのか、なぜ横浜市が「3R夢」を掲げているのか、ツアーの企画・参加を通じて考えることでより理解が深めることができました。



風早さん 明治学院大学 3年 (当時)

### 企画者の声

百聞は一見に如かず。このことわざがびたりとはまる企画でした！初めて企画をすることに携わり、環境における学びが深まるとともに、企画のノウハウや仲間との繋がりも得られ、ショッピングやレジャーとは異なる新たな「楽しい！」を教えてもらいました。



佐川さん 明治学院大学 3年 (当時)



# 燃やすごみ編(2013年)

## ツアーを行なった経緯

前回のペットボトルのリサイクルが好評で、また工場に行きたい！との声が多くあがったことがこのツアーのキッカケです。企画で特にこだわったことは「横浜らしさ」「学生らしさ」です。バスの中でもレクリエーションでは横浜に関するクイズを行ったり、多岐にわたる大学、学部の人に参加してもらうことで多くの視点に気づいてもらうことができました。



午前中は、ごみの分別方法をゲームで勉強！



**南本牧最終処分場**へ一般には開放していない最終処分場の中へ潜入。環境問題に対してより身近に危機を感じました。

**「鶴見工場（焼却工場）」**へ可燃ごみが灰になるまでの流れを見学しました。見慣れない光景にみんな興味深々です。



### 学んだこと

毎日捨てる身近なごみ、けれどその行く末は考えたことがなかったので全てが新鮮でした。横浜市は分別が厳しい！ということも新たな発見です。

正しい分別をすることで最終処分場に行くごみが減るなら、分別を今まで以上に気をつけてやろうと思いました。



胡桃さん 法政大学2年(当時)

### 企画者の声

ごみ処理工場の施設では、小学生の社会科見学向けにも開放を行っているのですが、説明をしてくださる職員の方の力の入れ方は同じではないと、感じました。環境活動に興味がある学生が集まっているということもあり、普段より熱く、長く説明してくださっていたとの事でした。

小学生でも大人でもない、大学生の立場だから出来る広報や周知の仕方を考えるきっかけになりました。社会人になった今だからこそ、思います。



角岡さん 明治学院大学3年(当時)



### 番外編その① インターンシップの研修として開催！

アクションポート横浜が主催している、NPO インターンシップの研修の一環としてツアーを開催しました！

普段、環境問題について触れる機会が少ない学生だからこそ、新しい発見が多くあったのではないのでしょうか。

大きなごみを燃ややすく小さくするための巨大プレス機や、ビン・カン・ペットボトルを手作業で選別する様子を見学しました。



# 紙とリサイクル編

「エコな船出…紙權船に乗って3R夢島へ」(2014年)

## ツアーを行なった経緯

紙の製造過程で、環境配慮へこだわっているところやその背景を知った後、分別後に回収された紙がどのようにリサイクルされているのかを知り、紙の一生を追うツアーを行いました。



初めましてのメンバーも  
ここでアイスブレイク♪  
学生間のネットワークを作り、  
環境団体の活動を深めるのもこの  
ツアーの目的のひとつでした。



### 横浜市資源リサイクル 事業協同組合 様 へ

上屋（港湾の荷さばき用倉庫）  
を見学し、実際に集められた古  
布や古紙の行方について知るこ  
とができました。



(株)大川印刷 様 へ  
実際に製紙工場にも案内して  
いただき、大川印刷様の環境  
に徹底した取り組みを自分た  
ちの目で確かめました。

## 学んだこと

私たちの出した日々のごみが、このよ  
うな形で再資源化され、海外に輸出さ  
れているという事実を初めて知り、分  
別の意義を感じる体験になりました。  
自分の目で見ることで  
理解できたので、普段  
分別する際にも意識す  
るようになりました。



鈴木さん フェリス女学院大1年(当時)

## 企画者の声

企業の方は「どうしてこの企画に賛同してくださっている  
のか」と考えたり、企画側の学生の個人の思いも大切にし  
なければならないですし、異なる立場の方々の思いをどう  
実現していくかが非常に難しかったです。  
また、ひとつの企画を成功させるには、その中で共通認識  
を持つことが大切だと実感した場でもありました。そして、  
リーダーは前に出るよりも、どうしたら場が良くなるのか  
を一番に考える、縁の下の力持ちである必要があると理解  
でき、企画者として、人として成長させてくれたエコツアー  
に感謝しています。

鈴木さん フェリス女学院大1年(当時)

## 番外編その② 新歓として開催！

「新入生の勧誘が難しい..」と同じ悩みを抱える、大学の環境系サークルメンバーが集まり、初めての「新歓編」として開催。

新入生が参加しやすいように、野外でエコクッキングを行ったり、団体ごとで仲良くなれるようなゲームを行いました！

このツアーをきっかけに団体に所属してくれた1年生もいて、ツアーとしても新歓としても大成功でした。





# 地産地消編(2015年)

## ツアーを行なった経緯

今回は、「地産地消」をテーマとすることで、あまり環境に詳しくない新入生でも気軽に参加できるツアーにしました。5月中旬に開催することで新歓の一環として呼びかけができ、新入生と上級生が4団体25名集まりました。新入生が環境について興味をもち、精力的に活動に取り組んでいくきっかけになったのではないかと思います。



**フェリス女学院大学のキャンパスツアー!**  
フェリスはエコな取り組みを行なっている大学として有名で、学内に風車が置かれていたり、屋上にビオトープがあります!



**「相沢良牧場」**へ  
相沢良牧場は横浜市で唯一の単一牧場で、牛の飼育も行なわれており、そこで絞られたミルクで作られたソフトクリームを食べました。



**「神明台処分地」**へ  
一見のどかな森のように見えますが、実は地面には昭和48年からがごみが埋め立てられています。ごみを埋め立てて終わりではないことを学びました。



**「3R 夢ひろばあさひ」**へ  
大きなクレーンでごみが運ばれているところを見て、大学生も大興奮です!



## 学んだこと

ごみの処理場から最終処分地を見て都市の持続可能性について危機感を覚えました。中でも印象的だったのは、ペットボトルとラベル&キャップは分別が違うということです。ラベル&キャップをつけたままペットボトルを捨ててしまうと、リサイクルしても質の落ちたペットボトルになってしまうそうです。このツアーに参加してから、意識して分別しています。



有見さん 横浜国立大学1年(当時)

## 企画者の声

ツアー当日まではあっという間で、1つのツアーを作る大変さと大きな達成感を体験できました。参加者に問題について理解を深めてもらえたこと、活発な議論になったこと、そして一緒に活動する仲間ができたことが企画をしていて嬉しかったことです。また、企画に関わる様々な分野での素敵な方々に会うことができたことも大きな収穫でした。



中村さん フェリス女学院大学4年(当時)



# 特別編

## 「とびだせ！エコツアー 横浜の水がきれいって本当？」(2016年)

横浜市の水道の一部は、道志村から引っ張ってきているというのは知っていましたか？

今年は、横浜市が道志村の水源林を取得してから 100 周年という特別な年ということで、横浜を飛び出して山梨県まで行ってきました！



11:00 ~

道志川が通る水源林の中で、横浜市水道局の方に水源林の大切さや管理についてのお話をして頂きました！

蛇口をひねって水道の水が出てくるのは当たり前のように感じますが、“この森から水が流れて私たちに届いている”と自分の目でみて、実感することができました。



16:00 ~

道志村を出発。

1日ツアーを通して、写真で見るだけではなくて現地に足を運び、体験する大切さを学びました！



13:45 ~

水源林について学び、美味しいお弁当も食べてお腹いっぱいになったところで、午後からは間伐体験です！

人工林で育てられる針葉樹は、密集して植えることによって真っ直ぐ育つため、始めは間隔を詰めておく必要があります。林業としてまっすぐで商品価値のある木を作るためには、木の成長に合わせた「間伐」が必要があるのです。





このロゴの水が  
道志村からの水を使っている  
横浜市の  
オフィシャルウォーター！

## 水と森の関係性

水源林とはいわば「緑のダム」。水を貯え、浄化し、洪水を防ぐという役割を果たします。

水源林においてなぜ間伐が必要なのか。それは間伐することで森に光が入るほか、密集して育つことでまっすぐに育つ針葉樹の林の場合は商品価値のある木をとるためには木の成長に合わせた間伐が必要になるからです。加えて表層に光が当たることで下層植生も生まれ、表土が守られ、水はきれいになります。木は太った幹と根を持つために、大水や土砂崩れの防止にもなるのです。

### 【道志村】

山梨県南東に位置  
道志水源林は  
「水源の森 100 選」  
の一つ



エコツアーに参加して、私がこのツアーの最大の成果だと思うのは、自然や人との多くのつながりを再認識したことです。私達の暮らしに水をもたらす水源林、その森林を守るための間伐、明るく、楽しいスタッフや参加者の皆……これらを含め、ツアー全てが充実していました。たった1日の出来事ですが、この経験は一生大切になりたいと思います。

明治大学 2年

1日ツアーで感じたことは、現地に足を運び、体験する大切さです。現地に行って、体験して、地元のもの食べて思い出ができれば、きっとその場所が大切な場所になると思うんです。大切な場所の素敵な景色が、自分たちの普段の小さな行いによって少しでも良くなるなら、続けてみよう！って思いますよね。きっと“エコな活動”ってそれくらい小さな思いやりの積み重ねなのかもしれません。

専門学生



# みんながエコツアー企画に関わったきっかけは？

企画をしているのは、必ずしも環境に深く関わっている学生だけではありません！みんなが始めたきっかけを聞いてみましょう。



東京農業大学（当時3年生）  
松田さん

Q：エコツアーに関わったきっかけを教えてください！

私は環境系の別のNPOにも所属しています。もっと活動したいけど、自分には何ができるのか…もやもやしているときに、「エコツアーの企画リーダーやってみない？」と声をかけられました。やれることがあるならやってみよう！という気持ちでスタートしました。

企画をやったことすらないのにリーダー？と不安もありましたが、たくさんの方が支えてくれました。ここで学んだことが活かされていて、別のNPOの活動もいきいき行っています！

Q：何か変化はありましたか？

エコツアーに参加してから、仲間と一緒に何かを作り上げる楽しさを知りました。また、今回の活動で自信がついてサークルや他の団体の会議でも積極的に発言できるようになりました！

Q：エコツアーに関わったきっかけを教えてください！

僕は松田さんと違い環境系NPOに所属していなければ、大学内でも専門的な学修をしていませんが、それでも小学生の時からゴミ拾いや植林活動を行った経験から少し興味がありました。

今回のエコツアーは周りの人からの勧めで参加しましたが、学生や社会人との交流、エコツアーでの司会など色々な経験ができ、参加して良かったと思っています。

Q：何か変化はありましたか？

エコツアーに参加してからは、参加者や企画メンバーとより一層仲が深まったことやエコツアーで得た経験を次に活かしたいという気持ちが表れ、エコツアー以外にも他のイベントに関わるようになりました。

産業能率大学（当時2年生）  
伊澤さん

## 企画メンバー募集中！

エコツアーでは、過去にツアーを行った先輩たちはもちろん、様々な出身の学生と企画を考えながら出会うことができます。

「環境について分からない…」「学業と両立できるか不安」といった悩みがあると思いますが、全員が環境に詳しい訳ではありません。「自分で企画を作りたい」という理由で参加する人もいたり、自分の興味のある部分で繋がれるのもこの企画の魅力の一つです。また、ツアーを通してエコについて学ぶこともできます。

そして、一番の強みはメンバー間の仲の良さです！最初はほぼ全員初めましてから始まったメンバーでしたが、ツアーを通して仲を深めることができ、会議以外にみんなで遊びに行くこともあります♪

是非少しでも興味があれば、一緒にエコツアーの企画を創りましょう！

「企画に参加してみたい」「環境活動に興味がある」  
そんな思いがある方、ぜひ一緒に活動してみませんか？

WEBには過去のツアーの様子も掲載されています。  
ぜひ見てみてくださいね！

お問い合わせは、「学生企画エコツアー」の  
Facebook ページまで！



学生企画エコツアー



# エコツアー報告書に寄せて

## ■フェリス女学院大学教授 佐藤輝さん

皆さんが一度は小中学生のときに行ったことがあるごみ焼却炉や最終処分場に、大学生があえて見学に行くことには大きな意義があると思います。小学生の時には見えなかった現場の方々のご苦労や細かい技術の効果などを大学生だったら十分に検証・実感できるからです。

このような見学ツアーを成功させるために最も苦労するのは、バス代の捻出、参加者の募集、ツアーの魅力づくりの3つだと私は考えています。このエコツアーでは、横浜市資源循環公社の皆様のご好意によってバスの手配を心配することなく、大学生のネットワークを生かして参加者を集め、自由に企画やコースを設定できることは協働の形として本当に理想的です。

また、ふだんはなかなか会うこともない大学間の交流を図ることができるメリットも見逃せませんね。



## ■(公財)横浜市資源循環公社 原田雄一さん

エコツアーは、学生の皆さんに、様々な環境問題について、気づいて、実感して、共感してもらえればと思い始めたものです。

共感してもらうには現場に行くのが一番！ごみの山、ペットボトルの山、古紙の山、廃棄物最終処分場、牧場？ 今年には水源林に行きました！その現場を見て感じてもらう。ツアーという形がぴったりでした。

しかも、行先・スケジュールは、我々が決めるのではなく、学生の皆さんに決めてもらう。気軽に、自由に、決めてもらう。

それぞれのツアーで、学生の皆さんが何か感じて、共感してくれていると勝手に勝手に思っています！

これまでのツアーを企画者として頑張ってくれた学生の皆さんと途切れなく学生の引き継ぎを支えてくれたアクションポート横浜の高城事務局長！ありがとうございます！これからもよろしく  
お願いいたします！現場に行くのが一番！次はどこだ？



## ■アクションポート横浜 事務局長 高城芳之さん

大学の環境サークルの学生と話している中で、分別を大学で推進してても実際にそのごみがどうなるか見たことない！知らない！それじゃあ、実際現場に見にいこうよ。そんなやり取りからエコツアーが始まったのを覚えています。そこから積み重ねて7回目。

毎回、企画メンバーやテーマは様々ですが、現役の学生が大人と一緒に考えて形にしていくから面白い。学生だけでも、大人だけでもできないような企画ができる。それがエコツアーの醍醐味、楽しさだと思います。この企画が学生の環境活動につながるきっかけになったら嬉しいですよね。

毎回キャラの濃い学生を優しく受け入れていただく横浜市資源循環公社の原田さん、竹中さんに感謝です。これからのエコツアーも楽しみにします！



# 編集後記

エコツアーで一步踏み出した  
ら人生ちょっと変わりました  
よ♡

松田

エコツアー会議では色々な事  
件がありました。参加して  
良かったです

伊澤

企画が進むにつれ大好きに  
なったメンバーとエコツアー  
を企画できて良かったです！

鈴木

エコツアー初の神奈川以外で  
の開催！貴重な体験になりま  
した～

高須賀

私は大した仕事もできませんで  
した。それでも暖かく迎えてく  
れるメンバーと共にやってき  
て、とても楽しかったです！

若林



## メンバーを家電商品に例えると…

### ミキサー

常に皆を巻き込む  
ミキサー的な役割  
のリーダー、しか  
し天然な行動が目  
立つ

### こたつ

お母さんみたいに  
暖かく見守ってく  
れる存在、しかし、  
言動がおばあちゃ  
ん

### 扇風機

会議に新しい風を  
吹き込ませる  
ニューフェイス、  
しかし時々煽り過  
ぎる傾向も…

### ルンバ

スキルが高く字が  
きれいな秘密兵器  
しかしよく表情に  
出る

### 冷蔵庫

皆のお話を聞いて  
くれる収納箱的  
存在  
しかし、時々収ま  
りきらない時も…

企画・編集：NPO 法人アクションポート横浜 学生チーム

URL : <http://actionport-yokohama.org>



FSC® 森林認証紙、ノン VOC インキ（石油系溶剤 0%）など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーン  
プリンティング認定工場にて、印刷事業において発生する CO<sub>2</sub> 全てをカーボンオフセット（相殺）した「CO<sub>2</sub>  
ゼロ印刷」で印刷しています。また、読みやすさに配慮した書体を使用しています。